

# 政策シート

(政策名) 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供  
(予算費目名) 公共建築費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進

◇政策の概要

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	2,020,910	1,666,422	1,318,299
決算	1,690,177	1,641,737	
人件費(A)	239,200	242,800	249,800
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,929,377	1,884,537	1,568,099

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
外壁・屋根を調査した結果、著しい劣化が認められない建物の割合	%	100	目標	87	95	97
			実績	92	95	
吊り天井非構造部材落下防止工事実施割合	%	100	目標	44	44	49
			実績	44	44	
協働センターのユニバーサルデザイン化整備工事実施割合	%	100	目標	12	24	51
			実績	6	36	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
○公共建築物長寿命化推進事業 外壁仕上診断11施設 空調設備改修9施設 外壁改修24施設 屋根改修38施設 実施済	
○公共建築物耐震化推進事業 避難所となる市有7施設について落下防止対策工事設計を実施	
○公共建築物のユニバーサルデザイン推進事業 協働センター4施設について、身障者専用駐車場屋根、多目的トイレ、エレベーター設置等の大規模整備を実施。7施設について、廊下・階段手摺、案内サイン設置等の小規模整備を実施。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	公共建築物長寿命化推進事業			○		853,212	793,512	6.5	2.5	2.0	
2	公共建築物耐震化推進事業			○		342,901	333,061	1.2	0.4		
3	安全で安心な公共建築物整備事業			○		199,701	188,501	1.4			0.5
4	公共建築運営費(一般諸経費のみ)					172,285	3,225	23.9	0.1		0.5
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,568,099	1,318,299	33.0	3.0	2.0	1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 公共建築物長寿命化推進事業

## ◇事業目的・事業対象

建築から一定の年数が経過した公共建築物について、計画的な改修により建築物の長寿命化を進め、長期的な財政負担の軽減を図るとともに、市民に安全で安心な施設を提供するもの。

## ◇事業の概要

### ・長寿命化工事

公共建築物の長寿命化を図るため、構造躯体に影響の大きい外壁や屋根について改修工事を実施する。また、機能停止により施設運営に影響を与える老朽化した大型空調設備についても、計画的に改修工事を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,277,081	1,481,601	793,512
	決算	1,014,493	1,422,758	
	国・県支出	67,041		
	市債	142,100	616,100	
	その他		691,305	400,000
	一般財源	805,352	115,353	393,512
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		61,400	59,700	59,700
人工	正規	7.0	6.5	6.5
	再任用(h31)	2.0	2.5	2.5
	再任用(h26)	2.0	2.0	2.0
	非常勤			

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
外壁改修工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	24	24	21			-
実績値	21	24				
屋根防水改修工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	52	43	43			-
実績値	43	38				
空調設備改修工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	8	9	4			-
実績値	9	9				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・長寿命化工事〔決算1,422,759千円(うち前年度繰越190,091千円)〕  
公共建築物の長寿命化を図るため、構造躯体に影響の大きい外壁や屋根について改修工事を実施する。  
また、機能停止により施設運営に影響を与える老朽化した大型空調設備についても、計画的に改修工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

著しく劣化した外壁や屋根、老朽化した大型空調設備を改修し、建物の長寿命化が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

- ・調査結果をもとに事業を見直し実施した。
- ・平成27年度改修実績73施設に対し、平成28年度は71施設を実施した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 正規職員 事業費 現状 人工 現状

・平成29年度までに著しく劣化した建物の改修(事後保全)を終えた後は、計画的な予防保全のための改修工事を継続的に行う。

# 事業シート (事業名) 公共建築物耐震化推進事業

## ◇事業目的・事業対象

大規模空間を持つ公共建築物の吊り天井などの非構造部材について、落下防止対策を行うことにより、施設利用者の安全確保を図る。また、地域の避難所指定施設について耐震化を進めることにより、地域住民の避難施設としての機能を確保する。

## ◇事業の概要

- ・非構造部材落下防止対策  
大規模空間に吊り天井を有する市有31施設について、災害時に地域の避難所となる施設を優先的に落下防止対策工事を実施する。
- ・避難所指定施設の耐震化  
静岡県基準(ランクⅠ)を満たしていない避難所指定施設(2施設)の耐震化を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	598,336	25,538	333,061
	決算	592,350	24,021	
	国・県支出		9,625	98,937
	市債			88,000
	その他	294,439		
	一般財源	297,911	14,396	146,124
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		9,100	9,840	9,840
人工	正規	1.3	1.2	1.2
	再任用(h31)		0.4	0.4
	再任用(h26)			
	非常勤			

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
吊り天井等非構造部材落下防止対策工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	24	7(設計)	3	-		-
実績値	24	7(設計)				
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
避難所指定施設の耐震化(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			2	-		-
実績値						
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・吊り天井等非構造部材落下防止対策工事  
災害時に地域の避難所指定となる7施設について設計を行う。  
また、大規模空間を持つホール等24施設は、人命保護を確保した上で、必要に応じて断熱・音響・空調等の環境条件を維持できる吊り天井の改修方法を引き続き検討する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

7施設について設計を実施した。また、今後設計を進めていく施設について現場確認を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・県補助金を活用し、避難所の対策を優先して設計を実施した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 国・県補助金 / - 事業費 拡大 人工 現状

・施設運営との調整を踏まえた上で早期に避難所を優先して吊り天井等非構造部材落下防止対策を実施する。避難所以外の施設についても、順次対策を実施する。

・避難所指定2施設の耐震化については、県補助金を活用して平成29年度で完了させる。

平成29年度

(管理番号)  
07 04 03 01 000506000 02

(担当課)  
公共建築課

(責任者)  
瀧口 克也

(作成日)  
平成 29 年 7 月 1 日

## 補助シート (事業名) 公共建築物耐震化推進事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
91	避難所となりうる協働センター附設体育館の吊り天井落下防止工事の先行実施  大規模空間に吊り天井を有する一般公共施設全施設の落下防止対策の実施	計画に基づき避難所となりうる施設の天井落下防止対策の実施	避難所となりうる施設の天井落下防止対策完了	その他公共施設の天井落下防止対策実施

# 事業シート (事業名) 安全で安心な公共建築物整備事業

## ◇事業目的・事業対象

だれもが利用しなくなる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の適正な整備水準を確保する。

## ◇事業の概要

### ○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進

《対象施設》

- ・協働センター33施設

《整備内容》

- ・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等

### ○公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動

### ○新増築・改築・大規模改造工事等に係るユニバーサルデザインの導入

- ・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	H36	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	141,947	155,599	188,501
	決算	80,266	191,782	
	国・県支出			
	市債			178,600
	その他			
	一般財源	80,266	191,782	9,901
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		10,500	11,900	11,200
人工	正規	1.3	1.5	1.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.5	0.5	0.5

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
協働センターユニバーサルデザイン化整備工事(施設数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	4	6	5			-
実績値	2	11				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
公共建築物のユニバーサルデザイン度(点)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	55	56	59			64
実績値	55	58				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						



◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進[決算191,783千円(うち前年度繰越58,815千円)]

《対象施設》

・協働センター33施設

《整備内容》

・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等

○公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動

○新增築・改築・大規模改造工事等に係るユニバーサルデザインの導入

・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・身障者専用駐車場屋根やエレベータ設備など、規模の大きな整備を実施する施設数は計画の6施設に対して4施設の実施であった。残り2施設のうち1施設は、平成29年5月までの繰越とし、1施設は施設運営との調整から、平成29年度の実施とした。

・廊下・階段手摺やトイレ小便器手摺、自動水栓の設置など、小規模な整備でユニバーサルデザイン化を図れる7施設について、平成31年度での整備計画を前倒して実施した。ほぼ計画通りである。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・平成29年度工事物件の設計を平成28年度に実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・平成30年度に予定している物件の設計を前年度(H29)に前倒して実施し、施設運営を踏まえた適正な工期での発注を目指す。

# 事業シート (事業名) 公共建築運営費(一般諸経費のみ)

## ◇事業目的・事業対象

## ◇事業の概要

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	3,546	3,684	3,225
	決算	3,068	3,176	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,068	3,176	3,225
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		158,200	161,360	169,060
人工	正規	22.4	22.8	23.9
	再任用(h31)		0.1	0.1
	再任用(h26)			
	非常勤	0.5	0.5	0.5

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						